WOODSPEC グレイスデッキ　施工マニュアル
<グレイスデッキ オリジナル下地>

野原産業エンジニアリング株式会社
2021.11.15.作成

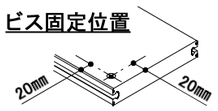
このマニュアルは基本的な注意事項をまとめたものです。現場の状況等によって条件等が変わる可能性があります。ご不明の点があれば、お問い合わせ下さい。

1　施工上の注意事項

【材料の特性】

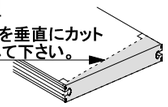
・グレイスデッキは木(木粉)とリサイクルプラスチックの複合材料。
・デッキ目地、躯体との離れ等は5mm以上の隙間を確保する事。
・デッキ材の長さは2m以下とする。
・ビス又はボルトナット(指定品)で固定。
・構造材での使用不可。非不燃材料。
・釘・接着による固定は不可。
・施工時には必ず下穴を空ける事。
・ビスの斜め打ちは禁止。
・水平を保って平積み暗所保管。
・材料の性質上、塗装不可。
・納品段階のデッキ材は通常、呼び寸法より長めで
　ラフカット状態です。(※プレカット注文可能)
・デッキ材の幅方向で+1mm・−0.5mmの寸法公差がある。

ビス固定位置



寸法取り

最初に両側を垂直にカット
(寸法取り)して下さい。



【デッキ種類及び下地ピッチ】(25mm厚)　単位(mm)

デッキ種類	厚み	デッキ跳ね出し	根太ピッチ	束ピッチ (シングル)	大引ピッチ (クロス)	束ピッチ (クロス)	根太大引跳ね出し
W145開 L2000	25	100以内 (根太芯より)	400以内 (アイハット鋼)	1200以内 (鋼製束)	1200以内 (アイハット鋼)	800以内 (鋼製束)	200以内 (根太:束芯・大引芯より) (大引:束芯より)

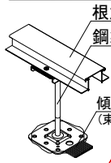
※設計条件:長期分散最大荷重350kg/㎡
　短期最大集中荷重150kg
　(但し、上記部材・部品を用いた場合のみ)
※上記を超えるピッチについては条件付で可能となる場合があります。
　お問い合わせ下さい。

2　下地材の設計

【下地材の構成 および 固定方法】

束材は設置面に接着剤、コンクリートビス等で固定する事。

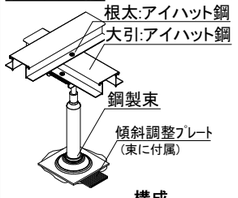
シングル工法(デッキH150以下)



:注意
・シングル工法の場合は、束材をコンクリートビス(5x35)で固定して下さい。
・固定できない場合は、『根太つなぎ(L−40x40)』を入れて下さい。

構成
(デッキh25 根太h35 【計 h60】) + 【束】

クロス工法(デッキH150以上)

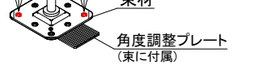


構成
(デッキh25 根太h35 大引h35 【計 h95】) + 【束】

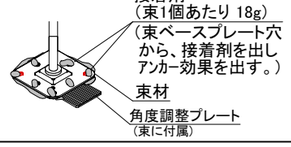
※詳細は、『根太つなぎ取付マニュアル』参照

【固定方法】

・『ビス固定』(束1個あたり 2ヵ所)
(床面がコンクリートの場合)



・『接着固定』(束1個あたり 18g)
(床面に塗膜防水・アスファルト防水等の防水層がある場合)

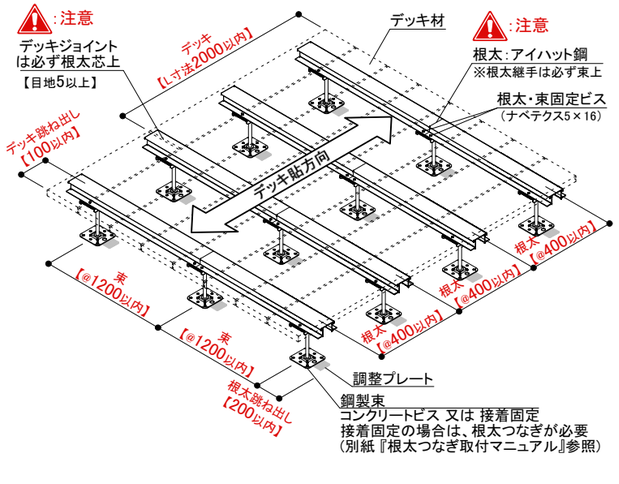


【鋼製束の種類及び調整域】　単位(mm)

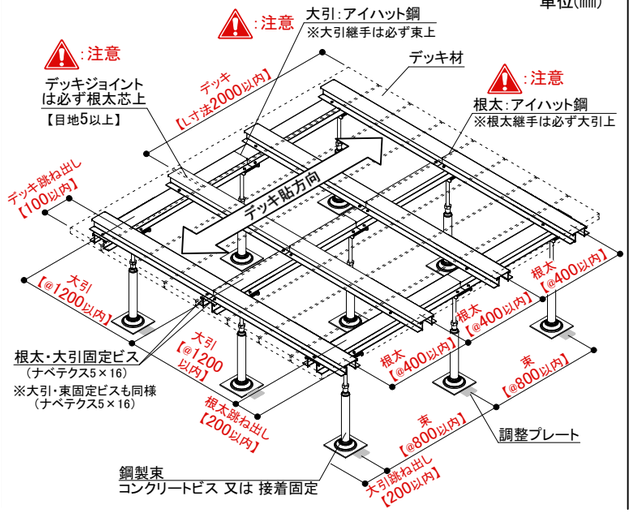
束名称		【束調整域】
	鋼製束小25	【23〜48】
	鋼製束小40	【40〜67】
	鋼製束小65	【65〜92】
	鋼製束小90	【 90〜117】
	鋼製束小115	【115〜142】
	鋼製束小140	【140〜167】
	鋼製束小165	【165〜192】
	鋼製束小190	【190〜217】
	鋼製束小215	【215〜242】
	鋼製束大203	【203〜323】
	鋼製束大278	【278〜438】
	鋼製束大318	【318〜553】

3　納まり概略図

【シングル工法】(デッキ+根太+束) デッキH150以下　単位(mm)



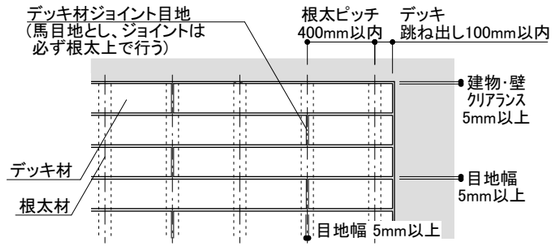
【クロス工法】(デッキ+根太+大引+束) デッキH150以上　単位(mm)



4　グレイスデッキの各種工法

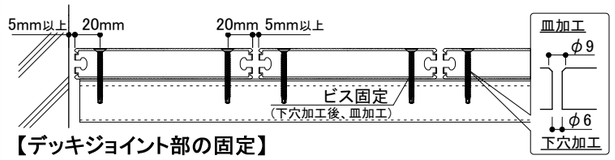
【基本事項】

・デッキ材の長さは2m以下で施工を行う事。
(施工時の取り回しや部材特性(伸縮等)を考慮)
・デッキ材の特性を踏まえ、「馬目地」での施工を行う事。
(馬目地とは隣り合う長手方向のジョイントを揃えないデザイン)
・固定ピッチ、目地幅、跳ね出し寸法等は下図の注意事項を厳守。



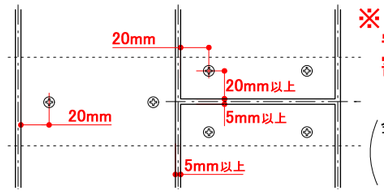
脳天ビス止め工法

ビス打ちの自由度が高く、デッキ設置角度
が変わる場所や鋭角切断等の変形デザインでも固定可能。



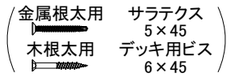
【デッキジョイント部の固定】

デッキ目地は5mm以上とし、ビス位置はデッキ幅方向で20mm以上、デッキ長手方向で20mm以上とする。



※ 左記のビス位置寸法を守らないとデッキ材が割れます。

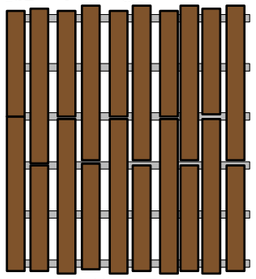
ビス固定の種類



ワイドQCS工法

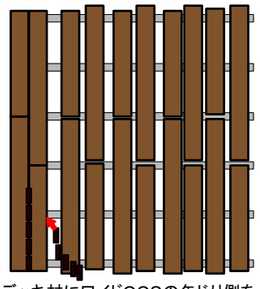
デッキ材にビス穴を開けずに固定できるため(端部除く)、全体のバランスを見ながら仮置き調整やデッキ材交換の自由度が高い。

【施工手順 ①】



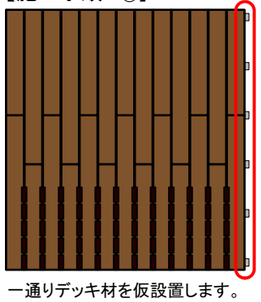
端部のデッキ材の位置を固め(ビス止め又はデッキ端部固定金物等)、使用するデッキ材を根太の上に置いていきます。(ランダムで構いません。)

【施工手順 ②】



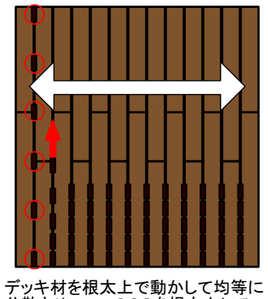
デッキ材にワイドQCSの矢じり側を差し込み、順々に次のデッキ材を仮設置していきます。

【施工手順 ③】



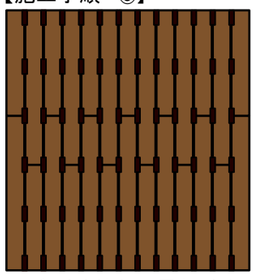
一通りデッキ材を仮設置します。

【施工手順 ④】



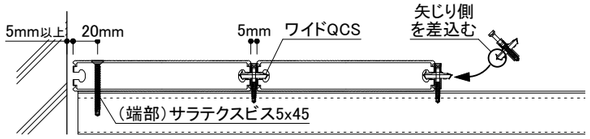
デッキ材を根太上で動かして均等に分散させつつ、QCSを根太上にスライドし、仮固定します。
使用するビットは2番(細め)です。

【施工手順 ⑤】

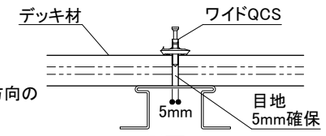


QCSビスを本締めして固定します。

Point　『矢じり』がデッキ材のスリットに引っかかり、外れにくくなることにより、スムーズな施工が可能になる。



Point　左記【側面図】のようにデッキ材長手方向の目地は、『ワイドQCS』を差し込むと5mmを確保することができます。

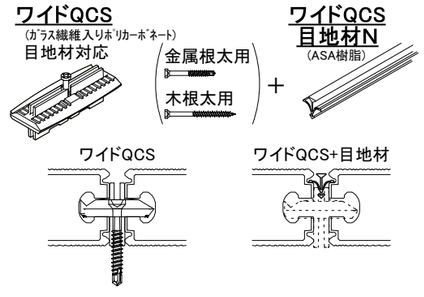


【側面図】
(デッキ長手方向)

Point　ワイドQCSはスライド可能なため、【施工手順 ②】の段階では固定位置(根太上)になくても構いません。

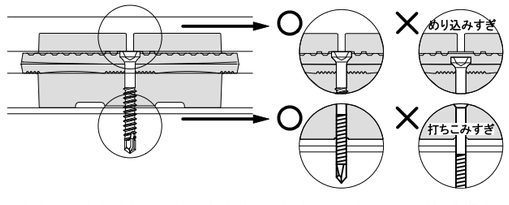
【ワイドQCS(標準仕様)】

金属根太用と木根太用のビスがある。

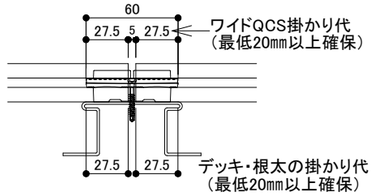


【ワイドQCSビス 締め込みの際の注意点】

トルクを調整して、ワイドQCSのビス頭がめり込まないように締める。



※めり込みすぎるとビスが取れなくなったり、ワイドQCSが割れる場合があります。



■このマニュアルは2021年11月に作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。
尚、本施工マニュアルは施工に際しての設計基準であり、性能を保証するものではありません。